

NPO法人社会還元センターグループわ会報
情報ギャラリー
 第28号

情報ギャラリー第28号
 発行日 2004年10月29日
 編集 グループ“わ”広報部
 発行者 赤司 松美
 発行元 NPO法人社会還元センターグループわ
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103
 Eメール group-wa@wa-net.jp
 ホームページ http://www.wa-net.jp



小さな池に託す大きな夢



ゼロから始めたビオトープ作り

こうべ環境未来館

企画運営担当 生3-垂 中島 洋吉

こうべ環境未来館企画運営委託業務の中に、ビオトープの整備・維持管理・観察会に関する業務という項目がありました。4月30日の企画運営業務委託団体審査会の席で、我々と一緒に審査を受けられたNPO法人はビオトープについては全く知識がない、これから勉強して取り組みたいと説明があり、これに対してグループわは、環境部会でしあわせの村ビオトープの維持管理を手がけており、またビオトープに関わっている会員もたくさんい

ることを説明して、これで業務委託を受けるのに、少しは有利になったなと感じました。

業務委託先がグループわに決定して、ビオトープづくりについて行政側と相談した結果、ビオトープ講座形式で一般市民から受講者を募り勉強をしながら、市民の手づくりのビオトープを造ろうと決定し『みんなで作ろう、みんなのビオトープ!!みんなと一緒にビオトープづくりを実践し、豊かな自然を再生しよう!』というキャッチフレ

ーズで、今年度は6月19日、7月10日・25日、8月8日・28日、9月12日、10月9日、11月13日に実施する連続講座(途中からの参加可)として受講生を募集し、ビオトープづくりが始まりました。

第1回の講座には、46名の参加者があり、活動事例発表などでビオトープの勉強をした後、これから造るビオトープのコンセプト
 市民と行政による長期的視点での手づくりのビオトープ
 リユース・リサイクルによるビオトープ
 市民が楽しみ生き物に触れ合える場の提供
 地域の動植物、出所のはっきりした生き物の移入
 次ページに続く

環境功労賞受賞

グループわはこのたび多年にわたる里山やビオトープなどの保全活動や地域における環境学習活動に積極的に取り組み地域の環境保全の向上に貢献したなどの事績を認められ、神戸市環境功労賞を受賞することになり、10月16日(土)、午後1時からしあわせの村研修館ホールで開かれた表彰式で赤司松美グループわ代表が矢田立郎神戸市長から賞状と副賞を授与された。

また個人として生環4期の西田金重さんが多年にわたるケナフ栽培を通じて環境保全教育に貢献した実績を顕彰されて同じく神戸市環境功労賞を受賞した。



市長から賞状を受ける代表



賞状と副賞

